



ビジネス業務用ITソリューションズ

「アタック」
「アタック」
「アタック」

をプログラミングし、「パ
ワーポイント」でプレゼン
テーションする。課題には
開催国の国旗が色濃く反映
される。2009年のカナ
ダ・カルガリー国際大会で
は「ロデオ」をテーマにロ
デオのチケット発売システ
ムの作成などが出題され
た。ロンドン大会のテーマ

プログラム手法瞬時に判断

7月ごろから本格的に練習
を始めたばかりで「問題の
傾向など手探り状態」(榎
原さん)という。
現在、平日は日本システ
ム開発(名古屋市千代田区)
に勤務し、週末は母校の名
古屋市立工業高校で5・6
時間の練習を重ねている。
今の課題は問題に慣れるこ
と。カルガリー大会の問題
を解くなど徐々に実践的な
練習を増やしている。ま
た、問題文を読み解くため
にサッカーの基礎知識の勉
強も始めた。「覚えること
が多いため、今後は自宅で
勉強する時間を増やす」
(榎原さん)予定だ。
仕事と練習の両立で忙し
い毎日だが「嫌だと感じた
ことはない」ときっぱり。
高校在学中にも部活動のプ
ラスバンド部と技能五輪の
予選を兼ねた「若年者もの
づくり競技大会」の練習を
両立。トランペットは奨学
生に選ばれたほどの腕前だ
という。高校1年生の時代
から指導しているコーチの内

モノづくり

デジタル機器向け

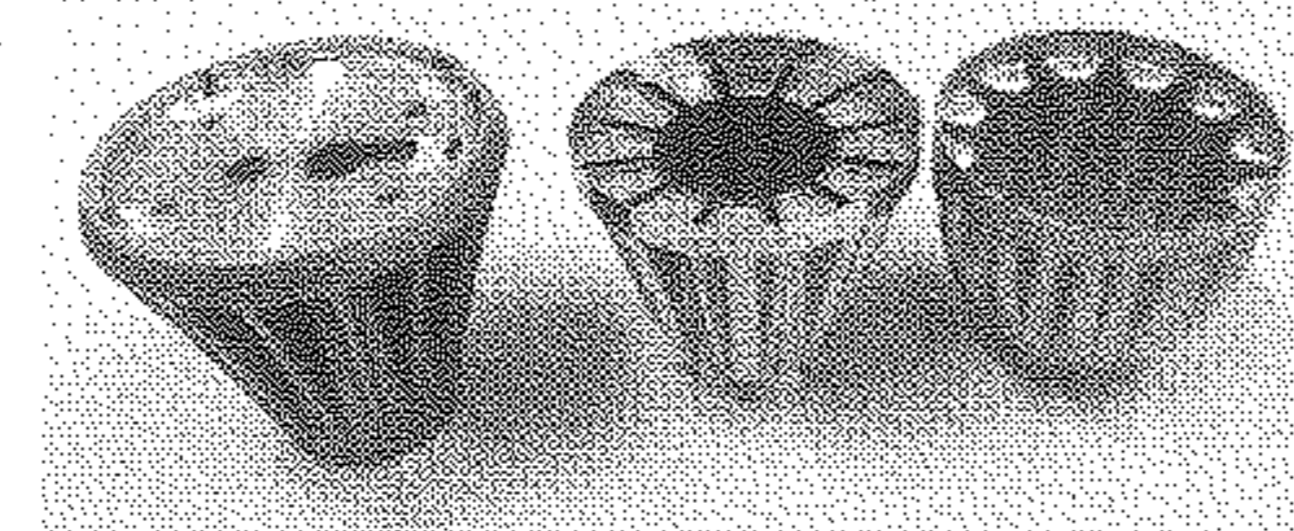
南部製作所専用加工機を設置

製作所(名古屋市南区、坂井
691-2013)は、7
月の極小ネジの緩み止め加工
に専用加工機を本社工場
で加工しているネジと合
下のネジの緩み止め加工能
力月産700万本にまで引き
上げ小型デジタル機器向けを
展開する。
の低い温度で融着できるよ
うに改良した。設備の投
入額は約400万円。
「これにより外径1.0
mm、首下長さ1.5mm程度
のネジの加工に対応す
る。同社はこれまでデジタ
ルカメラやテレビ向けに
外径1.7mm以上、首下
長さ2.0mm以上の緩

み止め加工を手がけてい
た。今回、より小さなネ
ジの緩み止め加工に参入
する事で、新分野を開
拓する。

LEDと燃料電池参入

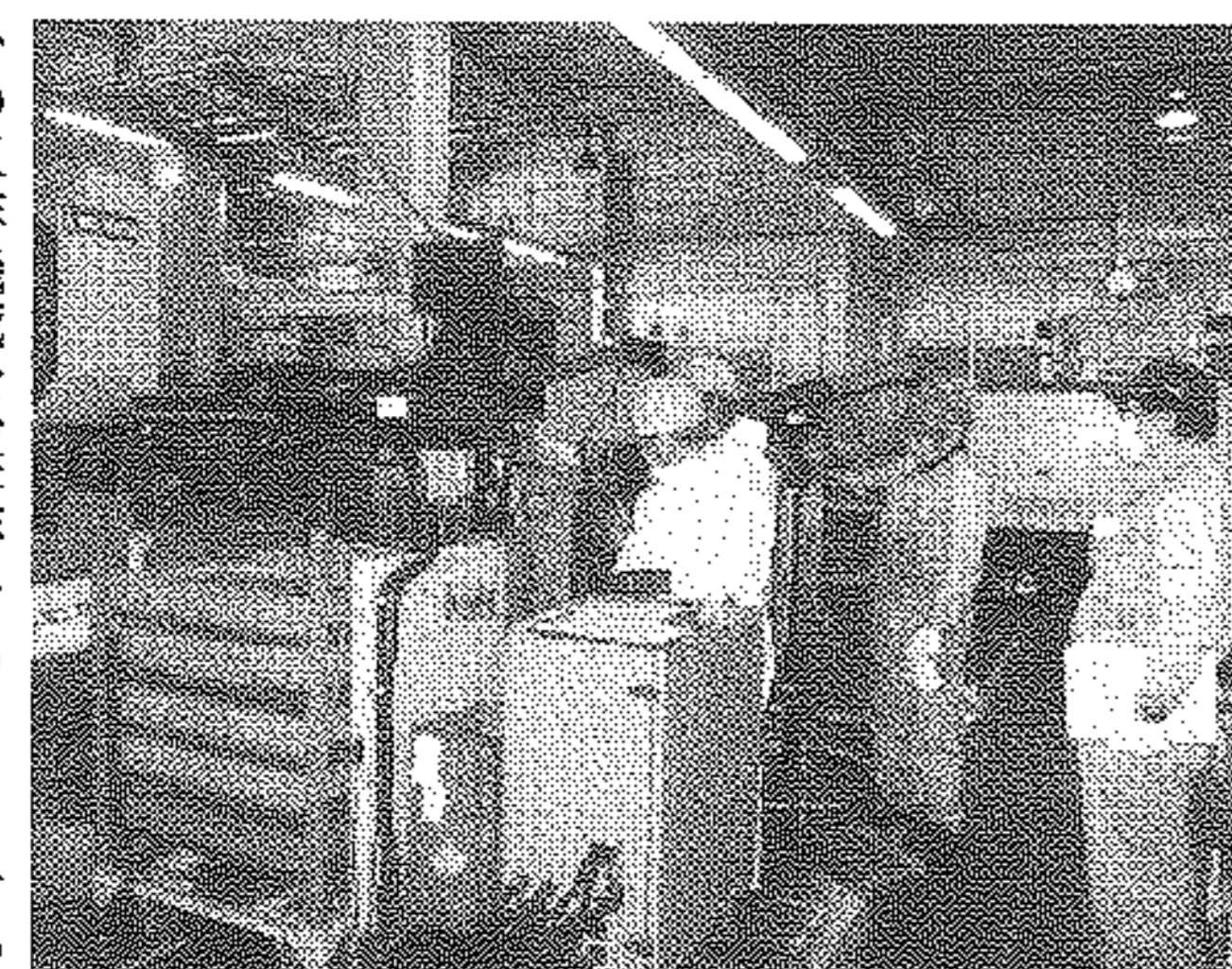
石関プレシジョン 金属部品量産



【前橋】石関プレシジ
ョン(群馬県高崎市、石
関誠二社長、027・3
71・5758)は主力
のプレス加工で、発光ダイ
オード(LED)、照明
と燃料電池の両分野に相
次ぎ参入する。パイロッ
ト生産を始めているLED
用ヒートシンクに統

き、年内をめどに燃料電
池用金属部品、2012
年にはLED発光素子用
金属部品を量産する計
画。両分野で12年度に売
上高2億円を目指し、全
社売上高の5割を占める
主力事業に育てる。
燃料電池用金属部品と
LED発光素子用金属部
品を「環境事業」として
位置づけて取り組む。燃
料電池向けは中小企業基
体への受注量維持する。
同社は電子機器向け小
型金属部品などの製造を
主力としている。金型製
作は内製化している。製
造拠点を海外移管に伴う
国内市場の縮小に対し、
環境分野で使われる金属
部品に着目。製造手法を
従来の切削加工やダイカ
スト製造から、生産性に
優れるプレス加工に置き
換えることを提案し、全
体の受注量を維持する。

協立製作所



たであ
伯すれ
た。た
にだけ
る工作
ずれし
クが必
納入先
震度を
から今
工場の
場のレ
験があ
正する
割り出
たり3

無人運転可能な
立型マシニング
センターを応援
者とともに復旧
う。高橋社長の復興計画が
明瞭になった瞬間だった。
多く見積もっても1週間で
復旧させるために、残りの
18チームの編成方法と必要
な水準器の手当てを考え始
めた。
高橋社長は「恥も外聞も
ない。サプライチェーン
(供給網)を担う一角とし
て、日本のモノづくりとプ
ランドを守りたいという一

全国から水準器、供給網守る

心だつた工話す。部品を供
給できなくなる間隙をつい
て海外企業が進出し、市場
を奪われることが自社はも
ちろん、日本全体にとって
痛手になると考えていた。
翌日からまず2チームで
水平検査を始めた。同時に
高橋社長は、納入先や協力
会社などを駆けめぐり、で
きるだけ正確に被災状況を
伝え、水準器と人員の提供
を求めた。
協力の呼びかけに対し、
3月15日には水準器が十分
に集まり、応援者は60人と
なった。21日までの約1週
間に延べ220人強が応援
に駆けつけ、協立製作所は
ほぼ予定通り、22日から約
200人強の自社社員だけで
本格稼働を再開した。
復旧作業中、銀行や同業
者とも連絡を取り合い、常
に情報交換に努めた。終始
冷静さを保った高橋社長は
「災害時に備えた「マニ
ユアルはつくっていかない。
お客さまなどに正確に情報
を伝え、意思疎通を図るの
は当たり前」という。秘策
はない。日常業務で培った
信頼関係こそが、非常時の
事業維持に役立つことをア
ピールした。
(茨城・山谷逸平)

設計効率を向上

日刊工業新聞社
売する「機械設計
は、「設計効率を
「管理法」を特集
カレントエンジン
滞りなく進める
PDM(製品デー
PLM(製品ライ
管理」といったデ
フトの活用方法を
テム導入の初期段
ノウハウを網羅し
ITツールを駆
づくりが浸透する
・開発段階では
D、3次元CAD、
BOMなど管理す



学生受け入れ 従業員に刺激

「学生に教えなが
ら若さを吸収している」
とインターンシップ(就
業体験 受け入れの理由
を明かすのはナラハオ
トテクノカル(東京都

企業参加の教育支援 基本的枠組み構築

東京学芸大と凸版印刷



育む